

### 浴室リモコン

#### ⚠️ 注意

- 取付けの前に必ずお読みください。
- リモコンの接続は、必ず配線用遮断器及び機器の漏電遮断器を「切」(OFF)にしてから行ってください。感電や故障の原因となります。
- 他の機器の電源コードやリモコンコードと一緒に束ねて配線しないでください。また、渡り配線はしないでください。リモコンや機器の誤動作の原因となります。
- 必ず台所リモコンとセットでご使用ください。
- リモコンコードは20m以内で使用してください。



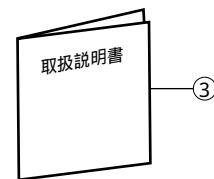
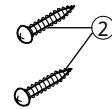
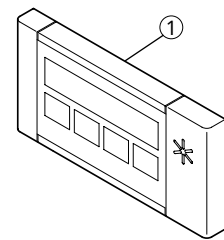
必ず実行

別売品のリモコンコードを準備してください。

- ガス給湯機用：RHA5001-3(3m)・-5(5m)・-8(8m)・-10(10m)・-15(15m)・-20(20m)
- その他の機器用：RHA1358-3(3m)・-5(5m)・-8(8m)・-10(10m)・-15(15m)・-20(20m)を用意しています。
- 屋外配線の場合は、別売品の浴室リモコン用屋外カバーセット(RHA1360N・1361N)を準備してください。

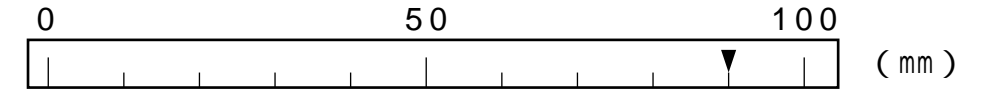
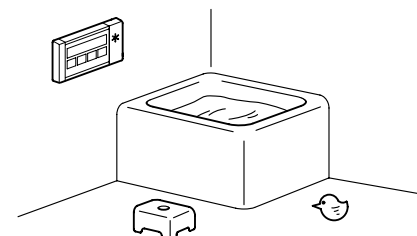
梱包内には下記の部品が入っていますので、部品と数量を確認してください。

番号	名称	数量
①	浴室リモコン(カバー付)	1
②	木ねじ(3.8×32)	2
③	取扱説明書 (お客様用・リモコン操作編)	1



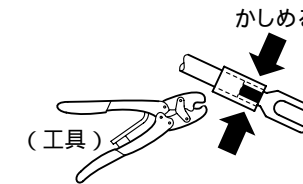
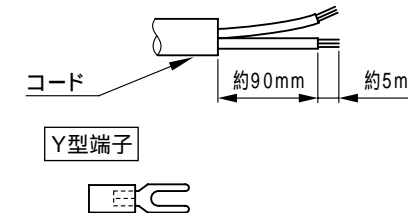
必ずお客様にお渡しください。

リモコンの操作が容易に行えるところに取付けてください。  
直射日光の当たる場所や白熱灯の近く(目安50cm)にリモコンを設置しないでください。  
変色や表示にムラが生じたり、動作不良の原因になります。  
リモコンの電源投入時やリモコンが点灯準備中には、表示画面に『お待ちください』と表示します。この間はリモコンの操作ができません。リモコンから指をはなしてお待ちください。



#### リモコンコードの端子接続方法

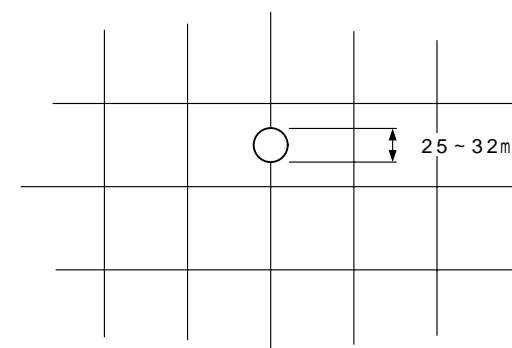
- 別売品のリモコンコードを切って使用する場合は、必ずY型端子側(給湯機に接続する側)を切って、リモコンコードの被覆を約90mmむいてから、M3ネジ用のY型端子をかしめてください。
- 注 かしめ後、コードをかるく引張って抜けないか確認してください。



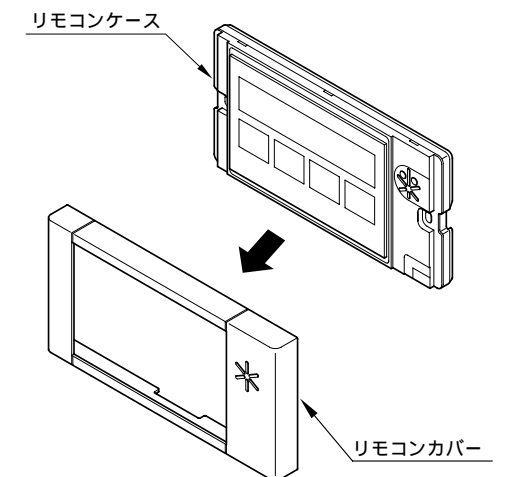
- 注 かしめは、絶縁スリーブ付端子用の専用圧縮ペンチをご使用ください。  
その他の工具を使うと接続不良の原因となります。

#### 取付手順

- ① 浴室リモコンを取付ける位置に 25~32mmの穴を壁と直角にあけます。



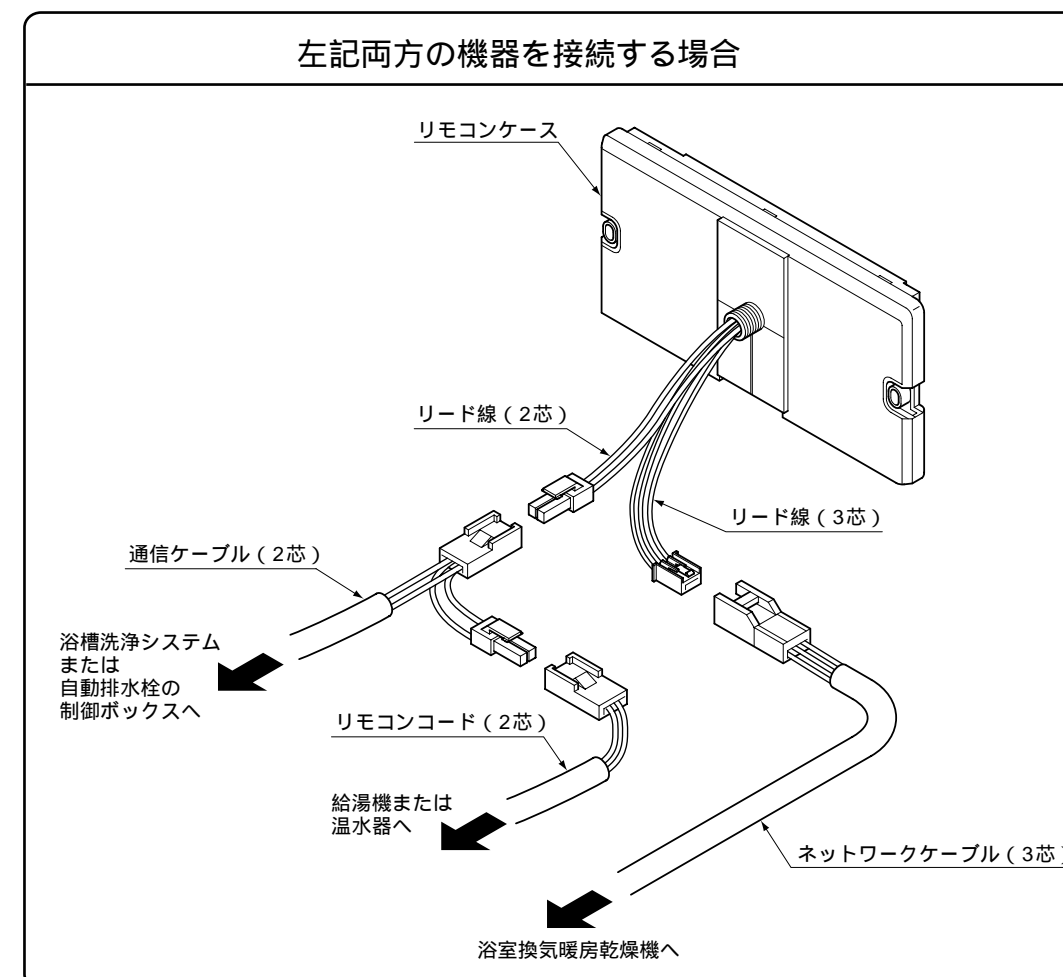
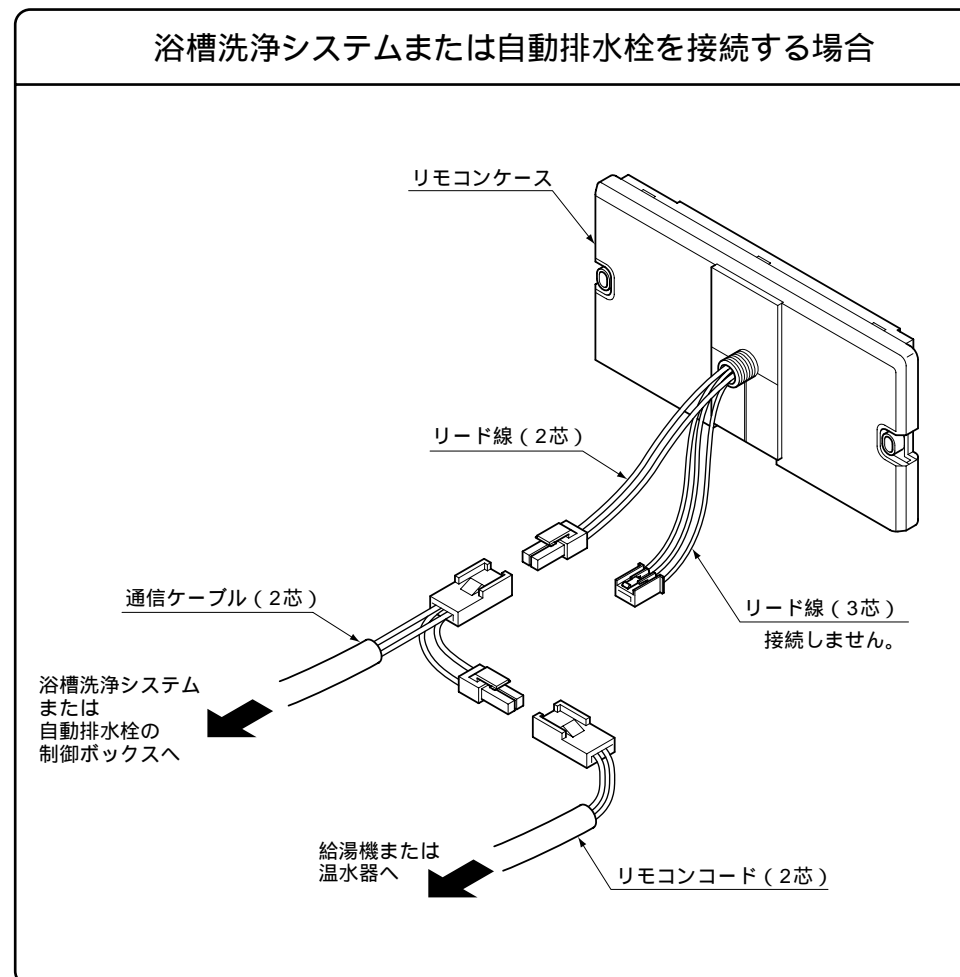
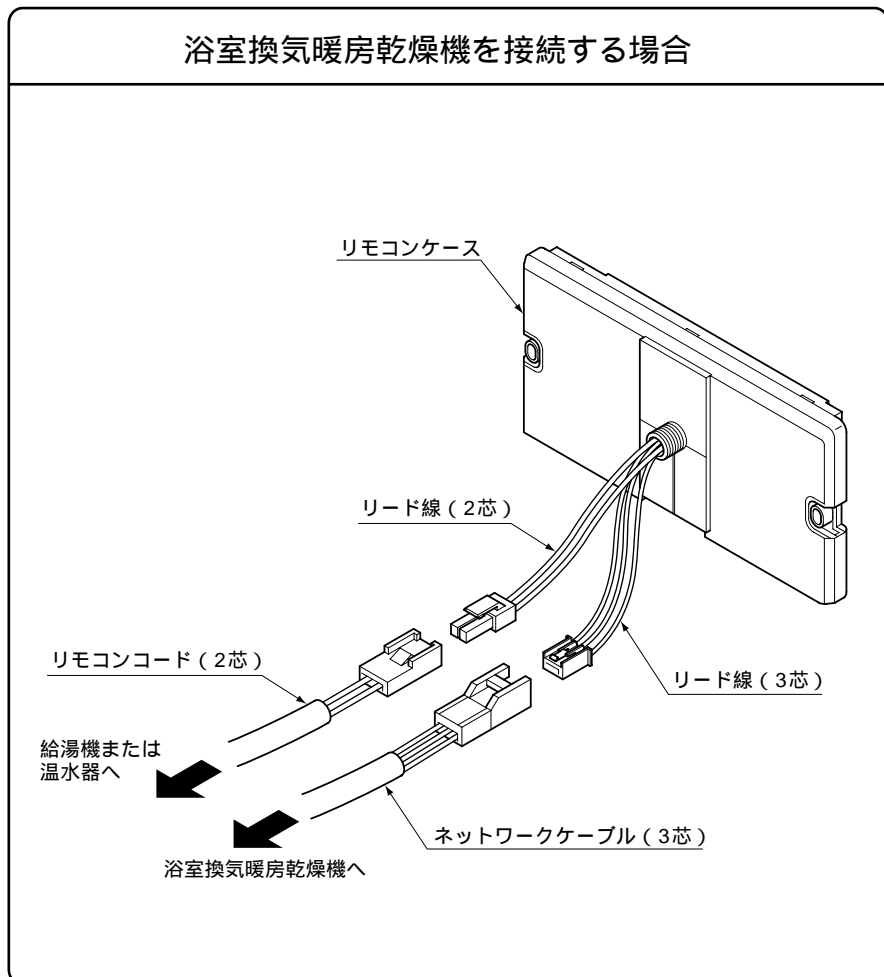
- ② リモコンカバーを外す。



手順③ ➡ 次ページへつづく

③ 浴室リモコンと別売品のリモコンコードと水まわりネットワーク対応機器のケーブルを接続します。

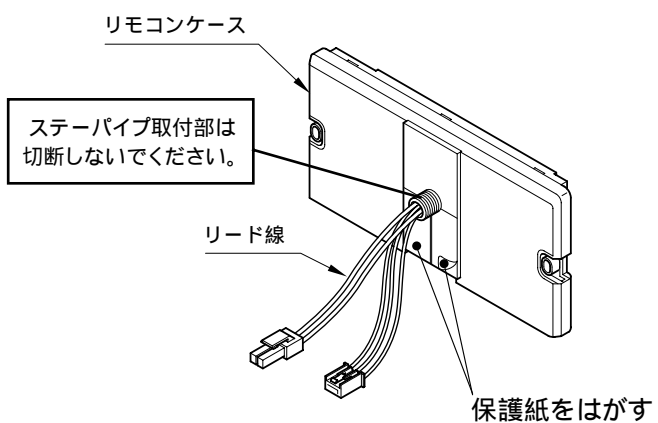
水まわりネットワーク対応機器のケーブルは、これらの機器の施工の際に、浴室リモコンのコード取出し用の穴から浴室内に引き込んで壁にテープで仮止めされています。



④ ケース裏面の保護紙をはがし、取付壁に密着させます。

注 密着させるときに注意して位置をきめてください。

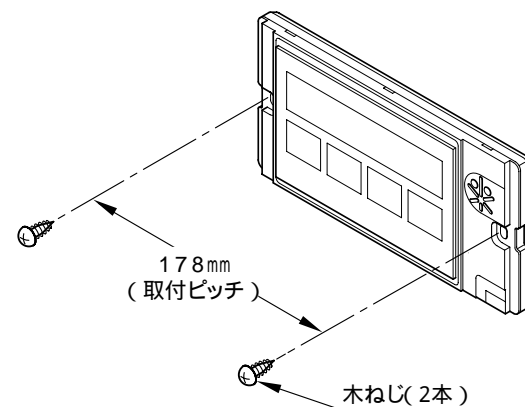
一度貼り付くと、ずらすのが大変です。



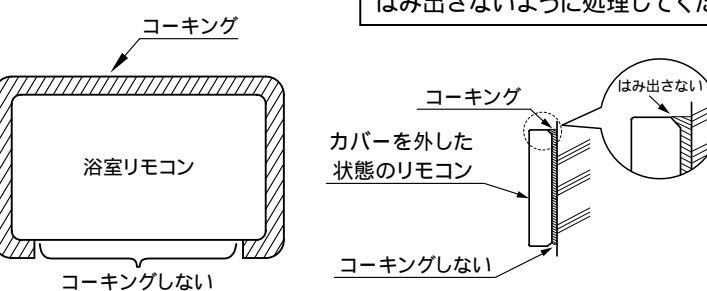
注 ステーパイプ取付部を切断すると、リモコン内部に水が浸入し故障の原因となります。

⑤ 付属の木ねじ2本で浴室リモコンを壁に固定します。

壁面の材質によりオールプラグ(カールプラグ)を使用する場合は、木ネジ径4mm未満の市販品を使用してください。



⑥ 浴室リモコンの上側及び両横側の壁接触部をコーキングし、下側はコーキングしないでください。



またリモコンの全周はコーキング材がはみ出さないように処理してください。

注 コーキングが不備の場合は、リモコン内に水が浸入し故障の原因となります。また、コーキング材がはみ出すと、リモコンカバーの取付けや取外しができなくなります。

⑦ リモコンカバーを取付ける。

